

第370回(令和7年2月)定例会 第3回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和7年3月18日(火) 12時05分から12時10分まで

2 場所

3号館6階 第2委員会室

3 出席者

村岡 真夕子	自由民主党政務調査会長(座長)
岡 つよし	自由民主党政務調査副会長
飯島 義雄	維新の会政務調査会長(副座長)
小泉 弘喜	公明党政務調査会長
迎山 志保	ひょうご県民連合政務調査会長

(オブザーバー)

風早 ひさお	自由民主党政務調査副会長
住本 陽子	維新の会副政務調査会長
麻田 寿美	公明党政務調査副会長
小西 ひろのり	ひょうご県民連合政務調査副会長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

○ 意見書案の確認

前回会議での協議を踏まえて座長から各会派に調整を行った意見書案について、資料により改めて確認した。

この際、自民党から意見書案8に対する態度及び調整に応じた趣旨について、以下のとおり補足説明が述べられた。

○ 岡 自由民主党政務調査副会長

合意にあたり一言だけ、補足説明として意見を表明させていただく。

夫婦別姓について「第5次男女共同参画基本計画」に、政府の結論として「戸籍制度と一体となった夫婦同姓の歴史を踏まえ、家族の一体感と子供への影響も十分に考慮する」とされ、婚姻により改姓した人が不便や不利益を感じることがないよう、旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組むと明記された。このように、夫婦・親子同氏制度を維持することはとても大切だが、婚姻により改姓した人の社会生活上の不便を解消するためには、旧姓の通称使用を法制化することが必要である。

自民党会派としては、「旧姓の通称使用の法制化を求める請願」の採択に賛成したところであり、このたびの意見書については旧姓の通称使用の法制化の早期実現を期するためという意味も込めて賛同するものである。

その後、次の8件の意見書案を本会議に提出することとし、座長から議会運営委員会に報告することを確認した。

なお、本会議提出に当たっての軽微な字句修正等の対応は座長一任とされた。

(意見書案)

- 1 再生資源物の屋外保管に係る法整備を求める意見書
- 2 学校へのスクールカウンセラー等の配置拡充を求める意見書
- 3 災害ボランティア活動に係る支援制度の充実を求める意見書
- 4 「授産品」の用語を使用しないことを求める意見書
- 5 若者の政治参加を促進する方策の更なる検討を求める意見書
- 6 警察学校における老朽化した施設の整備や空調設備設置の加速化を求める意見書
- 7 阪神・淡路大震災 30 年の取組を踏まえた大規模災害対策の更なる充実を求める意見書
- 8 旧姓の通称使用の法制化・選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書